

夕刊 新報 昭和十一年四月二十二日

民謡呼稱の問題其他

松本 風平

今日では詩人の他に、更なる民謡の呼称は作詞家の權に區別して民謡歌謡や歌謡種の一現象なのだ。...

雪朝遠望 珠雲 小野野平 夜來雪飲人清景 寒樹生花晴景新 眞箇靈峰壯心目 碧空遙見山重深

新妻久満男選

木田 瑞子

○お玉は玉のさつきの間に提燈の、火一つゆく娘 散りたまをり ○アカシヤの白き小花は散り失せぬ、静かによ

黄金魔乃

高桑義生作 樋口悦也書

と妻は見えず、なめらかなお多津は女ながら、二人をなげ、年増らしい女の聲がならべて心地よげな微笑を



お雪さん、お染様も此方だったので、すぐ後から、と、お入りになって、くわし悪い時には悪いもので、引

と妻は見えず、なめらかなお多津は女ながら、二人をなげ、年増らしい女の聲がならべて心地よげな微笑を

最新下劑 アロフェノール 平町阿部薬舗

井坂産科婦科醫院 電話 五五九番

前田醫院 サービス自動車

實家、静岡産地、茶問屋 卸小賣大角園

木村外科醫院 電話 三〇九

郡山脳病院 電話 九二五番

小瀧温泉 瀧乃湯旅館 電話 103 割 烹 部

磐城代表的の土産品 平屋賣店

桑原柔道整骨院 電話 六七四

日本石油株式会社特約店 關影商店平支店

北川外科 醫學博士 北川芳夫

# 義務教育國庫負擔金

## 總額十七萬六千餘圓

内郷村の二萬一千餘圓を筆頭に

### 郡下町村交付額決定

本郡に於ける昭和十一年度  
町村義務教育費國庫負擔法  
第三條前段による交付金十  
七萬六千八百四十二圓四十  
錢の町村交付額は十日左の  
如く決定、今月並に七月、  
九月、十二月及び十二年二  
月の五回に亘つて交付され  
ることとなつた

- 泉三、二九二 渡邊一、  
八〇一 植田四、七五七  
山田二、六二四 錦三、  
二一四 勿來七、四八八  
上野野四、一九三 入道  
野三、二八四 川部三、  
三七五 田人組三、九  
八八 平一七、四二五  
飯野二、八二七 夏井二、  
六、八四二、四〇

# 人絹の火災保険金

## 二百六十一萬圓

近く大工場新築に着工

島有に歸した錦村昭和人絹十名が職金として此稿續十三  
工場火災保険額は過般米尺、横十五尺の大國旗を購  
農林省産業試験場山賀技師入來、二十九日の天長節の  
長によりこれが損害額査定  
を行つてゐたが昨日を以  
て終了した結果總額五百六  
十二萬圓のうち約半額の二  
百六十一萬五千圓を關係十  
五社から支拂はれる事に決  
定を見た

# 農事功勞者表彰

## り團體事務所授與式

郡農會では今十一日の農會  
記念日に際し左記町村農會  
助 同書記山崎千朝 大  
野會計野野平 好問評  
議員金成金作 同伊藤藤  
田村計村松義節 山田  
植田計村松義節 山田  
會長秋山誠之助 山田副  
會長佐川 入道野會計  
佐藤忠太 平評議員松橋  
國松 飯野副會長長箱治  
三郎 飯野副會長長箱治  
高久副會長長谷久太郎  
高久會計鈴木正一 櫻岡  
會長鈴木藤治郎 櫻岡副  
會長山野邊茂五郎 小名  
落評議員高木安吉 同草  
野良太郎 玉川會長野野  
滿藏 玉川書記小松正平  
落評議員長岡孝平 落評  
書記箱橋恒司 湯本會長  
仲里順太郎 同書記箱橋  
魚等は主として此種の漁船を家とする七濱の子の断

# 市制を布くには

## 先進地銚子足利を観る

市制を布くには先進地銚子足利を観る  
この意味に於て本郡江名  
濱の漁船が近來波路遙かに  
濱の漁船が近來波路遙かに  
濱の漁船が近來波路遙かに

# 飯野に大國旗

飯野村北白土青年團では創  
設四十周年を記念し團員四

# 豊間(道)と好間(道)

## 榮えの優勝旗獲得

昨日の武道大會成績

武徳會分會主催の恒例忠  
魂祭武道大會は昨日十日當日  
結核披露は昨日午後三時  
結核披露は昨日午後三時  
結核披露は昨日午後三時

# 小遣金をあつめ

## 憐れな盲生に寄附

郡下小學校兒童の美舉  
既報一郡下小學校  
童は憐れな盲生のため  
中だつたが寄附金一錢、二  
錢を持寄つて四百六十五  
五十一錢を取寄せたので  
山教育部長、千葉同副  
長は今日一日訓官院を  
水野院長に右金額を贈  
呈した

# 借金を苦しめた青年

## 馴染藝妓(部)と墮落

残された母親から平署へ  
川部村小川生れ佐藤テヲ跡あり十一日母ミネより平  
(三)は東京市日本橋區浪花  
町一八藝妓屋野口金之助  
方に金借し名乗つて藝妓奉  
公中去月十二日情夫の青森  
市大野長島生れ田中喜代  
(二)と誤し合待合平松方  
野會計野野平 好問評  
議員金成金作 同伊藤藤  
田村計村松義節 山田  
植田計村松義節 山田  
會長秋山誠之助 山田副  
會長佐川 入道野會計  
佐藤忠太 平評議員松橋  
國松 飯野副會長長箱治  
三郎 飯野副會長長箱治  
高久副會長長谷久太郎  
高久會計鈴木正一 櫻岡  
會長鈴木藤治郎 櫻岡副  
會長山野邊茂五郎 小名  
落評議員高木安吉 同草  
野良太郎 玉川會長野野  
滿藏 玉川書記小松正平  
落評議員長岡孝平 落評  
書記箱橋恒司 湯本會長  
仲里順太郎 同書記箱橋  
魚等は主として此種の漁船を家とする七濱の子の断

# 東京の若妻殺しは

## 久の濱生れの夫

家庭愛の破綻が主因  
九日正午東京市目黒區上目黒からして夫治郎に間違  
八八の三五〇靜岡縣産業株ひなしと断定、約九時に  
式會社社員買収及東都久の預金つて疑ひ訊問した結果  
町田綱子江の朝み次男新九日午後十時四十分に至り  
妻治郎(三)方の二階四疊半家庭愛の破綻と生活苦から  
の間の押入の中で同人の内妻を殺したことを自白し  
妻高柳登美(二)が殺した  
を遂げてゐるの夫が発見  
目黒署へ届け出たが現場の  
模様から或は夫が殺して  
いて自殺の如く疑つたので  
はないかと疑念が濃厚で  
なり九日午後一時治郎の身  
柄を目録署に留置すると共  
警視廳捜査第一課野口警  
部、高木鑑識課長、判例事  
務官出張検査の結果頭筋に  
保官出張検査の結果頭筋に  
保官出張検査の結果頭筋に

# 浅墓な放火男に六月

## け平區の言渡し

既報一葉東大久村小久字時過ぎ自宅屋敷内の堆肥に  
町田大前工職根本由房(四)放火した事件は今日十一日午  
時頃、清田村大字四理塚岩瀬あつたが去る一日家出し双  
子次女ミキ(三)を訪れた葉東長塚村カフエ(二)の  
同郡鳥栖村大字岩瀬岩瀬あつたが去る一日家出し双  
子次女ミキ(三)を訪れた葉東長塚村カフエ(二)の  
同郡鳥栖村大字岩瀬岩瀬あつたが去る一日家出し双  
子次女ミキ(三)を訪れた葉東長塚村カフエ(二)の

# 身代金をゴマ化する

## 抱主と女の親を騙した

悪周旋人擧げらる  
平町田平太郎長女伊藤上替したと案次郎はその身  
代金千圓を受け取つたに拘  
り(二)は去る二月上旬山  
清水台五五人亦周旋業人  
案次郎(五)の斡旋によつて  
案次郎(五)の斡旋によつて  
案次郎(五)の斡旋によつて



天候 小名

# 浮かれ狂女

## 溺婦を騙る

これぞ周旋人  
去る二月十七日小名町町某子(三)は数字前が精神に  
料理屋方酌婦城島郡島郡  
野村大字四理塚岩瀬あつたが去る一日家出し双  
子次女ミキ(三)を訪れた葉東長塚村カフエ(二)の  
同郡鳥栖村大字岩瀬岩瀬あつたが去る一日家出し双  
子次女ミキ(三)を訪れた葉東長塚村カフエ(二)の

# 新妻教諭

## 一箕校歌作詞

選者岩城高女教諭新妻熊男  
氏は先頃北白土青年團  
長の依頼で同校々歌を作詞  
の井岩城夫岡野雄(三)同

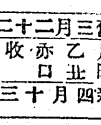


電線泥 九日内郷村

電線泥 九日内郷村  
線地内磐城炭礦所有電線約  
三十米(十六本)を窃取  
した犯人あり、目下捜査中

一箕小學校々歌  
新妻久満夫作

名も飯盛の松風に  
雷と散りし花の色  
君と國に捧げたる  
薔子は今に咲かして



覆録成

覆録成  
福島運事では  
昨日十月二十  
七日大雷雨の  
夜、磐城東線  
小川郡川前  
間に於ける旅  
客列車の脱線  
事故から數十  
名の死傷者を出した當時  
大理事を詳細に調査した記  
録を永久に残すことになり  
来る十五日、六の両日飯坂  
泉鐵道事務所各掛書記の  
記録編成打合せを催すこと  
になった

不意に公にお灸、浪江  
町権現堂宇新町自動車運轉  
手林司(二)は一月十七日  
午後五時半頃トランプを運  
轉して長村村湯草地内國道  
を走行中、自動車三台が連  
行する二番目にあつて注意  
を怠つたため道路を横断せ  
んとした同所志賀(三)が  
妻に衝突、頭蓋底骨打から  
即死せしめたが此程度平區  
がされれば直に同(六)白  
染められ七、七、七、七、七  
注され七、七、七、七、七、七  
注され七、七、七、七、七、七  
注され七、七、七、七、七、七

浮かれ狂女  
溺婦を騙る